

◆ 今週のコメント

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は0.73で、過去5年平均値(0.58)を上回っています。年齢階級別にみると、6歳から7歳で40.0%を占めています。
- ・ RSウイルス感染症の報告は3例(6箇月～11箇月, 1歳)で、本年の累積報告数は82例です。同時期までの年当たり報告数としては、感染症法に基づく届出の対象となった平成15年第46週以降、平成20年の126例に次いで多くなっています。

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は25.75(1751例)、全国では35.15で、共に第44週に流行発生警報の開始基準値(30.0)を超えた後、継続基準値(10.0)以上であるため、引き続き警報発令中です。

なお、急性脳炎の報告が、第44週(男4歳)に引き続き1例(男8歳)あります。本年の累積報告数は6例で、すべてインフルエンザウイルスによるものです。詳細をトピックスに記載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類: 結核 1例(肺結核 1例, 肺外結核 なし, 無症状病原体保有者 なし), (喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 351例(肺結核 224例, 肺外結核 83例, 無症状病原体保有者 44例), (喀痰塗抹陽性 108例)】
- ・ 五類: 急性脳炎 1例【1月以降の累積報告数 6例】
- ・ 五類: クロイツフェルト・ヤコブ病(孤発性) 1例【1月以降の累積報告数 2例】

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ ^a	インフルエンザ	25.75	1751
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.46	101
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.73	30
	③ 水痘	0.56	23
	④ 流行性耳下腺炎	0.46	19
	⑤ 突発性発しん	0.37	15
眼科	流行性角結膜炎	0.20	2

病原体情報

ありません。

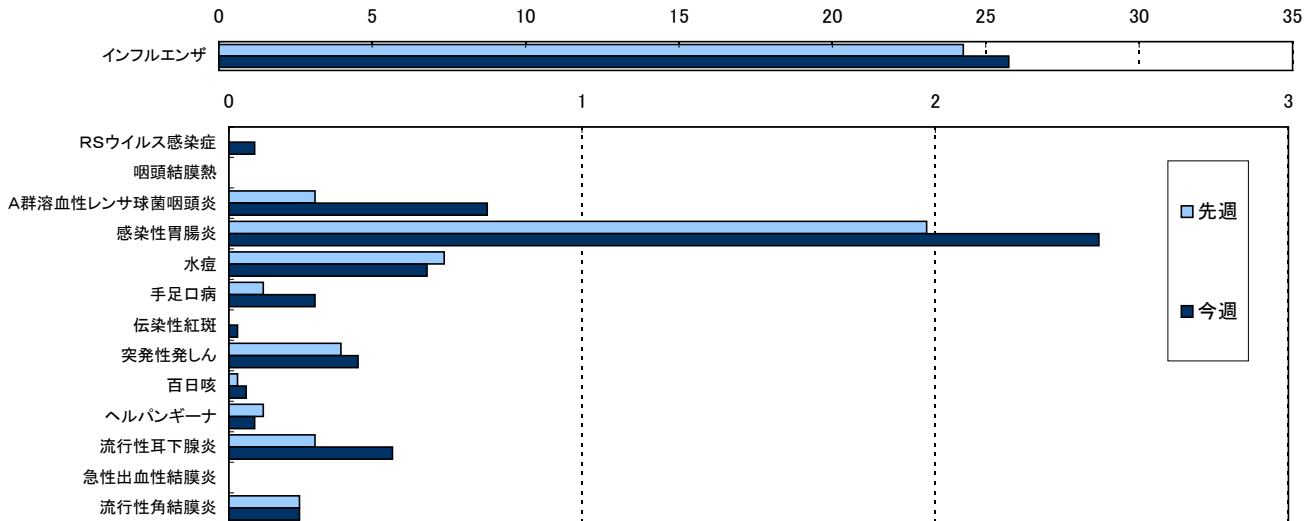
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

(注) 京都市のデータは、平成21年11月19日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

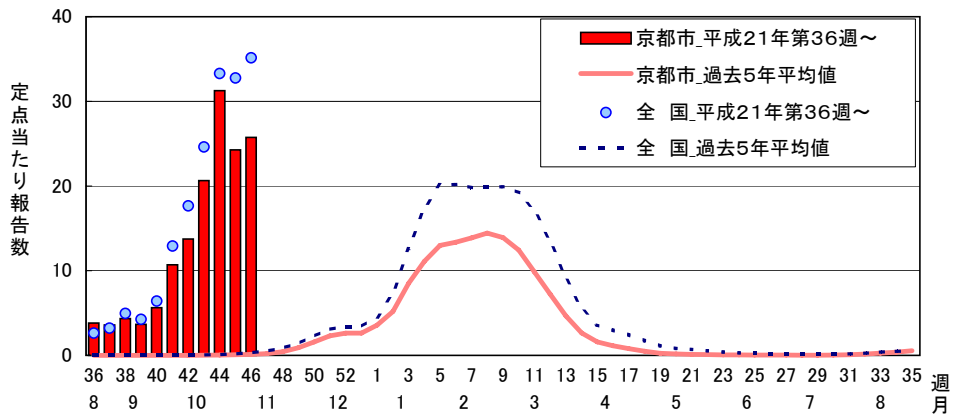
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第46週)と先週(第45週)の定点当たり報告数の比較



2 インフルエンザの推移

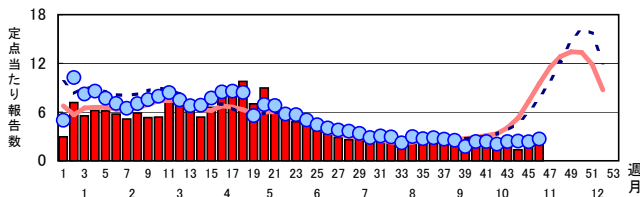
週	報告数(例)
第42週	934
第43週	1404
第44週	2126
第45週	1650
第46週	1751
累積報告数 (第36週以降)	10026



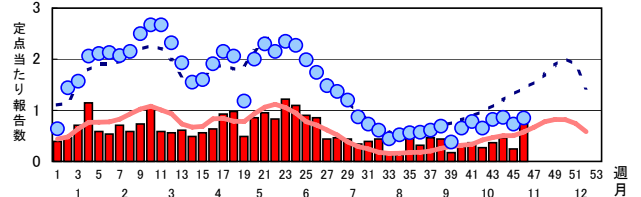
3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>

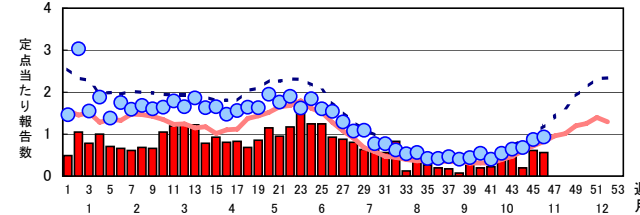
1 感染性胃腸炎



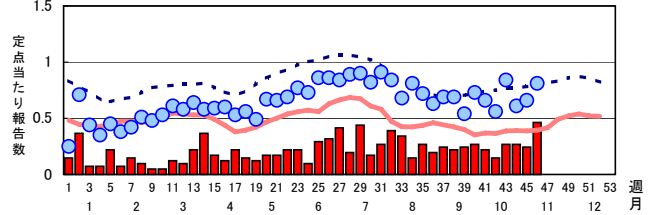
2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



3 水痘

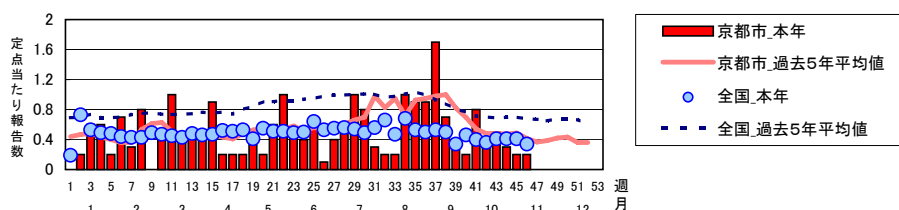


4 流行性耳下腺炎



<眼科定点>

流行性角結膜炎



第46週(11月9日～11月15日)トピックス: <インフルエンザ>

インフルエンザの定点当たり報告数は25.75(1751例)、全国では35.15で、共に第44週に流行発生警報の開始基準値(30.0)を超えた後、継続基準値(10.0)以上であるため、引き続き警報発令中です。

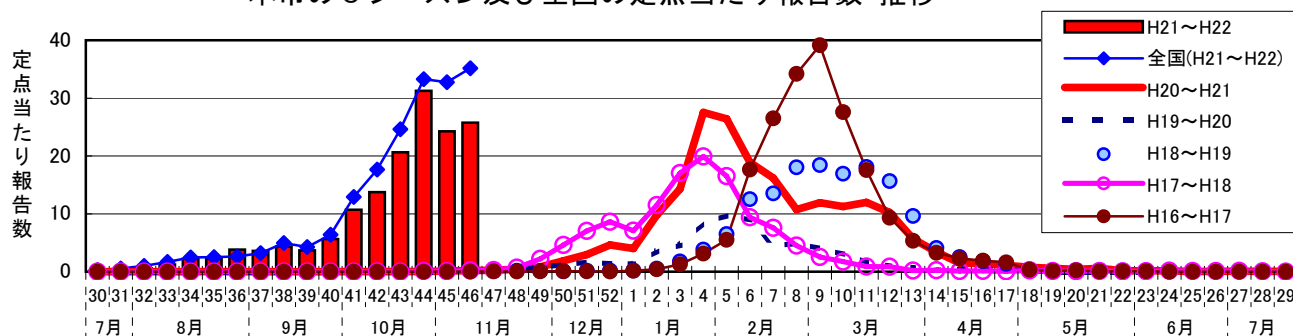
近畿圏及び京都府の推移をみると、本市と同様に、先週に比べ微増しており、依然として警報発令中です。第40週～第43週に都道府県の中で最も報告数が多かった北海道では、その後顕著に減少していますが、夏季に急増していた沖縄県では、一旦減少していたものの、10月ごろから再び増加傾向を示しています。

年齢群別構成割合では、「5～9歳」、「10～14歳」、「0～4歳」の順に割合が高くなっており、第40週以降、「0～4歳」の割合が増加傾向を示しています。

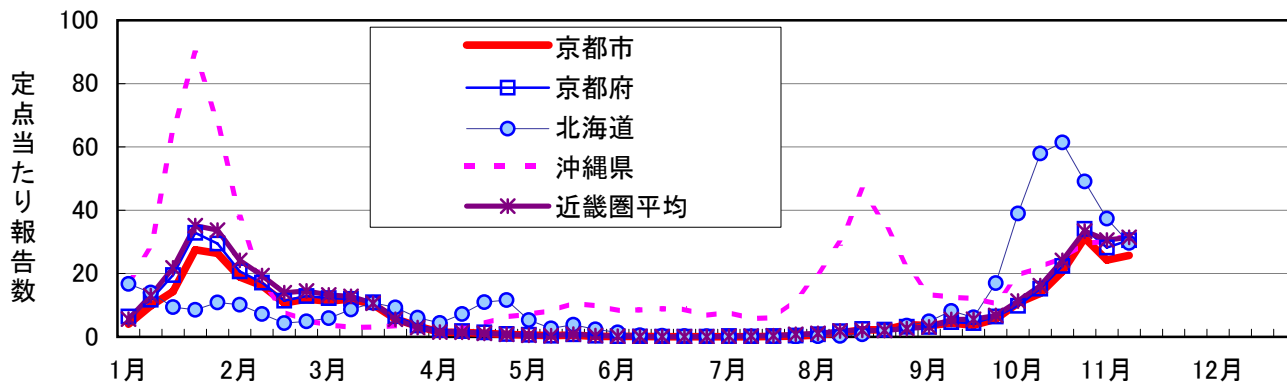
なお、急性脳炎の報告が、第44週(男4歳)に引き続き1例(男8歳)あります。本年の累積報告数は6例で、すべてインフルエンザウイルスによるものです。

第46週に京都市衛生公害研究所でPCR検査を実施した59例のうち、53例からA型インフルエンザウイルスが検出され、そのすべてがAH1pdm(新型)でした(6例は陰性)。

本市の6シーズン及び全国の定点当たり報告数 推移



本市及び特徴のある都道府県、近畿圏の推移



年齢群別構成割合の推移

